

令和2年度第2回 岐阜県外国人材活躍・多文化共生推進本部員会議



学校法人 HIRO学園

Escola Brasileira Professor Kawase

エスコーラ ブラジレイラ プロフェッソール カワセ

報告者

学校法人HIRO学園
事務局長 川瀬 弘樹


学校概要

- 代表者 理事長 川瀬充弘 (創設者)
 - 事業内容 ブラジル人学校
 - 所在地 岐阜県大垣市上面2丁目90-2

 - 教職員
 - ブラジル国籍 16名
 - 日本国籍 10名 (うち1名は帰化)

 - ブラジル教育省 認可校
 - 文部科学省 外国人学校認可校 日本初
(ブラジル人学校として)
- * 学校の成り立ちは、ホームページに掲載





生徒数

- **現在196名在籍**（1月8日時点）
- 内訳
 - 幼稚部 6名
 - 初等部 35名
 - 中等部 65名
 - 高等部 90名
- 岐阜県 132名
- 愛知県 59名
- 滋賀県 5名
- 約85%がスクールバスを利用

プライマリ・ケア・ドクターの設置状況

(令和2年12月16日設置済み：大垣市民病院)

- ブラジル本国は、内科や外科のクリニックは少なく、総合病院が中心のため、日本に来て間もない方は、個人のクリニックに馴染みがない
- 言葉の通じることの安心感が、受診に繋がる。
(通訳者が常駐)



- 各家庭のかかりつけ医がない場合、大垣市民病院を勧めている。

感染防止対策

- ・ 換気
- ・ 消毒
- ・ マスク
- ・ 手洗い



消毒



マスク



換気



手洗い



来校前のマスクの着用を
促す多言語案内と消毒
(学園玄関前)



《新しい生活様式》

- ・ ハグから肘タッチ

○県の感染拡大防止チラシや県国際交流センターのSNS情報を活用して啓発

○教員・高校生のコロナウイルスに関するアンケートの実施

多言語による学内
掲示で啓発



生徒の状況 (成果と課題)

- ・手洗いに対する文化的習慣意識の違いがある。
- ・ハンカチを持ち歩く習慣がない。
- ・アルコール、マスクの習慣は定着している。

○教育現場として

生徒たちに、考え行動する力を育てる一環として
指導の柱ー “誰”のために「行動」を取るのか。

→『自分行動＝大切な人を守ること』

コミュニティを大切にす文化を活かしたアプローチ

○教員・高校生のコロナウイルスに関する

アンケートの実施

